

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和7年9月定例会	
議案番号 議案名	議案第17号 令和7年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）
議員名・会派名等	政策実現フォーラム・社民
賛否態度	反対
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>私たち政策実現フォーラム・社民は、本会議で述べた討論を持って賛否の理由としています。以下、反対討論です。</p> <p>.....</p> <p>政策実現フォーラム・社民の増田薫です。 ただいま議題となっている、病院事業会計補正予算第一回について、会派を代表し、委員長報告に反対の立場で討論します。</p> <p>本議案は、総合医療センターの再建計画を実現させるために、病院内と本庁が連携する経営再建プロジェクトチームと共に、外部に専門人材のコンサルタントをプロポーザルで選定し、3,200万円で、再建案の分析・評価・実行支援を伴走型で委託するというものです。先の議員全員協議会で、松戸市総合医療センター令和7年末の現金残高は24億円にまで落ち込む見込み、このままでは、運営資金に必要な20億円を下回り、令和8年度からは現金が枯渇する恐れがある、と深刻かつ危機的な状況であることの説明がありました。</p> <p>この危機的状況を乗り越えるべく、8月1日に病院事業管理者と市長部局が連携する“経営再建プロジェクトチーム”が発足しています。</p> <p>さて、本議案は、専門性のあるコンサルタントを提案型のプロポーザル審査で選出し、経営再建プロジェクトチームが検討した内容を、3,200万円をかけて、精査・支援してもらい、経営再建に繋がりたい、とするものです。</p> <p>審査では、今のこの病院経営の状況で、貴重な3,200万円ものお金を支出する価値が確実にあるものか？を念頭に、コンサルタントの依頼する3200万円に対する具体的な効果、目標値があるのかをお聞きしました。</p> <p>しかし、答弁からは、具体的な数値目標をお聞きすることはできませんでした。</p> <p>「成果としては、今年度中においても費用の削減、増収策などのアドバイスをいただき、ひいては基準外繰入を減らしてまいりたい」等々の答弁がありましたが、成果の具体的な数字はありませんでした。</p>

た。

他にも、積算根拠と他市の事例を尋ねました。他病院での事例は確かに挙げていただきましたが、コンサル料については不明のようでした。これでは費用対効果は分からず、比較検討はできません。

また、本気で民間のコンサルにより自治体病院の経営再建が出来ると確信するのならば、実際に視察に行くなど直接話を聞くべきかと思いますが、こうした話もなく、今回の委託に賭ける病院の本気度について疑念を待たざるを得ませんでした。

又、今回の委託の目的について、「自分たちで経営再建をすすめている」という意識を醸成し」というお話もありましたが、こちらには正直びっくりしました。ここまで病院経営が悪くなっているのにも関わらず、今から経営再建の意識の醸成とはいかがなものでしょうか。ということは、すでに経営再建プロジェクトチームが発足しているにもかかわらず、経営再建の意識が病院内には醸成されていないということなののでしょうか。

これは暗に長年の経営意識の低さが原因であろうと考えます。コンサルに入ってもらうことで、経営する意識の醸成を期待しているようですが、まさかここからとは驚きました。この状態で、実質4ヶ月ほどのコンサル介入で意識が本当に変わるのか？大いに疑問です。

コンサルに依頼するためには、まずは徹底的な自己分析と目標値が少なくとも必要であり、そのうえでこうした数値目標の達成を条件に公募で具体的な施策やアイデアを提案していただき、事業者を選定、委託するほうがより経営再建の道筋がはっきりとするのではないのでしょうか。

もしもコンサルに入ってもらうのであれば、やりながら考えて実行できるまで徹底的に管理するくらいの大掛かりな改革が必要だと思えます。

以上、質疑を通して、今、病院事業が直面している危機的状況のもとで、3,200万円ものお金をかけるだけの説得力ある説明とは感じられず、さらに今回の委託に賭ける病院の本気度についても、その確固たる確証も得ること出来ませんでした。よって冒頭に申し上げた委託による3200万円が確実に価値あるものなのかの判断をすることができませんでした。

よって、この議案には反対とします。皆様のご賛同をお願い申し上げます。